

# 生活支援体制整備事業 推進セミナー

現在、全国の市町村で2018年4月までの「新しい総合事業」への移行を目指して準備が進められていますが、多くの市町村の担当者は、この事業をどう進めていけばよいのかという悩みを抱えています。私どもは、そうした声を受けて、そのすすめ方とポイントを解説した「生活支援体制整備事業をすすめるための市町村ガイドブック」(平成28年度厚労省老人保健健康増進等事業)を、関係者の協力を得て作成しました。

このセミナーでは、ガイドブックの解説を中心に、生活支援体制整備事業のすすめ方を考えます。



● 関東甲信越会場

2018年  
1月14日(日)  
埼玉県さいたま市

● 四国会場

2018年  
1月28日(日)  
高知県のいの町



**生活支援体制整備事業をすすめるための市町村ガイドブック**  
生活支援コーディネーターと協議体の活動と運営  
2015年の介護保険改正における地域づくりや、生活支援コーディネーターと協議体の具体的な活動や推進体制の作り方などを豊富な図表入りで分かりやすく解説しています。  
【発行】全国コミュニティライフサポートセンター

(641) A4判/48ページ 頒布価格 **800円+税** 注文数  冊



**生活支援コーディネーター養成テキスト**  
この「生活支援コーディネーター養成テキスト」では、これまでの介護保険における個別支援とは異なる地域づくりの視点を明確にしました。住民の日常の暮らしを尊重した地域資源の育て方のポイントや、協議体、生活支援コーディネーターの役割を学びます。  
監修：吉田 昌司/編：高橋 誠一・大坂 純・志水 田鶴子

(615) B5判/108ページ 定価 **2,400円+税** 注文数  冊



**改正介護保険における新しい地域支援事業の生活支援コーディネーターと協議体**  
従来型の介護予防から「地域づくり」へ。2015年4月の介護保険制度の改正で生まれた「新しい地域支援事業」について、よりよく地域で運用するための考え方と取り組みをわかりやすく紹介します。  
監修：吉田 昌司/編：高橋 誠一・大坂 純・志水 田鶴子

(594) B5判/32ページ 定価 **600円+税** 注文数  冊



**集合住宅団地における『つどい場、と災害公営住宅におけるつながりづくり』**  
自治体やNPOが取り組んでいる、さまざまなつどい場や災害公営住宅での支え合いの具体的な活動内容、運営する上での工夫、活動により得られた成果や参加した住民の評価などを詳しく紹介しています。  
【発行】全国コミュニティライフサポートセンター

(585) A4判/75ページ 頒布価格 **1,000円+税** 注文数  冊



**被災者支援・地域生活支援のためのサポーターワークブック**  
【初任者用演習テキスト】第三版  
各自治体、組織での集合研修、職場内研修の他、ケアマネジャーや民生委員・児童委員等生活相談に携わる方への地域生活支援入門の演習テキストとしても活用できます。  
【発行】全国コミュニティライフサポートセンター

(633) A4判/116ページ 本体 **2,000円+税** 注文数  冊

マンガでわかる



**生活支援コーディネーターのための地域支え合いの活かし方**  
マンガを通して、生活支援コーディネーター等の地域への入り方、住民との関わり方を学んでいきます。  
【発行】全国コミュニティライフサポートセンター

(632) B5判/48ページ 定価 **1,000円+税** 注文数  冊



Juntos [フントス] Vol.88  
**支え合いの地域づくり**  
池田昌弘が各地を訪ねて考えたこと  
地域の小さな支え合いの活動をどうやって見つけていくのか、そして、今日的課題と照らし合わせながらこれからのつながりづくりを考えるヒント集。  
【発行】全国コミュニティライフサポートセンター

(20088) B5判/64ページ 定価 **1,000円+税** 注文数  冊



**「見守り活動」から「見守られ活動」へ**  
住民歴書とエゴマップのすすめ  
地域の支え合いをホンモノの支え合いへと発展させるためには、できないことに目を向けるのではなく、何が出来るか?それをどう活かしていくか?というニーズ把握を行うことがポイントです。本書では、「住民歴書とエゴマップづくり」を提案。イラストや事例も交えてわかりやすく解説しています。  
著：酒井 保

(570) B5判/52ページ 定価 **1,000円+税** 注文数  冊



**集落における地域支え合い**  
地域づくりとしての「地域共同ケア」へ  
人口減少・少子高齢化時代において急激に進む集落の過疎化、小規模化のなかで「最後までその土地(地域)でその人らしく暮らす」ために行われているさまざまな住民自治福祉活動を紹介した実践事例集です。  
【発行】全国コミュニティライフサポートセンター (DVD付)

(525) A4判/80ページ 頒布価格 **1,000円+税** 注文数  冊



**暮らしの中からつくる福祉コミュニティ 地域福祉のすすめ** 東北からの発信  
「住民主体の原則」を謳った1962年策定の社会福祉協議会基本要項のもとになった、伝説の「山形会議」。その仕掛け人の一人である著者が、つぶさに見つめ実践してきた東北の地域福祉を語り明かす!  
著：渡部剛士

(593) B5判 168ページ 本体 **2,000円+税** 注文数  冊

送信先 **FAX 022-727-8737** 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) TEL:022-727-8730

書籍注文書 ◆送料は、全国一律500円。5,000円以上お買い上げの場合は、無料となります。(沖縄・離島を除く)  
◆CLCのホームページからご注文いただけます。http://www.clc-japan.com/book/

請求書宛先名 (施設名、氏名など)			
発送先 (住所、施設名、担当者名など)	〒 -		
TEL	( ) -	FAX	( ) -

お問い合わせ

主催 / 生活支援体制整備事業推進セミナー実行委員会  
共催 / 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC), 近所福祉クリエーション  
事務局 / 〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F  
全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 担当: 橋本・吉成  
TEL:022-727-8730 FAX:022-727-8737

# 生活支援体制整備事業推進セミナー

定員 各会場 200人

参加費 2,500円  
\*別途テキストをご購入ください。

時間 10:30～16:15

使用テキスト 生活支援体制整備事業をすすめるための市町村ガイドブック

本セミナーで使用しますのでお持ちの方はご持参ください。お持ちでない方は、裏面からご注文いただくか会場販売をご利用ください。関連書籍も当日会場にて販売します！



主催：生活支援体制整備事業推進セミナー実行委員会  
共催：全国コミュニティライフサポートセンター  
ご近所福祉クリエイション

関東甲信越会場

2018年1月14日(日)  
東大宮コミュニティセンター  
(埼玉県さいたま市見沼区東大宮 4-31-1)

四国会場

2018年1月28日(日)  
いの町総合保健福祉センター(すこやかセンター伊野)  
(高知県いの町 1400)

- 10:30-10:35 開会
- 10:35-11:15 「生活支援コーディネーターと協議体の役割を紐解く」  
東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一  
岡山県倉敷市保健福祉局健康福祉部 参与兼部長 吉田 昌司  
(前厚生労働省老健局振興課 課長補佐)  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘
- 11:15-12:00 「生活支援コーディネーターが地域に溶け込み、地域を再発見する」  
ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査 木村 利浩  
(元福島県昭和村 生活支援コーディネーター)
- 12:50-13:35 「ナチュラルな支え合いの”見える化・見せる化”とワイワイガヤガヤの協議体」  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査 橋本 泰典
- 13:35-15:05 「生活支援コーディネーターと協議体の実際」  
<パネラー>  
埼玉県草加市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター 白河部 りつ子  
埼玉県富士見市社会福祉協議会 在宅福祉グループ  
生活支援コーディネーター 鈴木 将史  
山梨県小菅村社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 望月 理香子
- <サポーター> 厚生労働省関東信越厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課 課長 懸上 忠寿  
ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保  
ご近所福祉クリエイター 酒井 保
- <コーディネーター> 埼玉県社会福祉協議会 地域活動支援課 課長 大島 聡志
- 15:15-16:15 まとめ「生活支援体制整備事業を生かした支え合いの地域づくり」  
東北子ども福祉専門学院 副学院長 大坂 純  
岡山県倉敷市保健福祉局健康福祉部 参与兼部長 吉田 昌司  
(前厚生労働省老健局振興課 課長補佐)  
埼玉県福祉部地域包括ケア課 主幹 今井 隆元  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘

- 10:30-10:35 開会
- 10:35-11:15 「生活支援コーディネーターと協議体の役割を紐解く」  
東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一  
岡山県倉敷市保健福祉局健康福祉部 参与兼部長 吉田 昌司  
(前厚生労働省老健局振興課 課長補佐)  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘
- 11:15-12:00 「生活支援コーディネーターが地域に溶け込み、地域を再発見する」  
ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査 木村 利浩  
(元福島県昭和村 生活支援コーディネーター)
- 12:50-13:35 「ナチュラルな支え合いの”見える化・見せる化”とワイワイガヤガヤの協議体」  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘  
全国コミュニティライフサポートセンター 開発主査 橋本 泰典
- 13:35-15:05 「生活支援コーディネーターと協議体の実際」  
<パネラー>  
滋賀県米原市社会福祉協議会 地域福祉課  
主任兼ソーシャルワーカー(生活支援コーディネーター) 中川 慶則  
高知県本山町社会福祉協議会  
事務局次長 (生活支援コーディネーター) 久市 里美  
高知県中土佐町健康福祉課・地域包括支援センター生活支援コーディネーター 若木 和香  
厚生労働省四国厚生支局地域包括ケア推進課 課長 高橋 英二  
ご近所福祉クリエイション 主宰 酒井 保  
ご近所福祉クリエイター 酒井 保
- <サポーター> 高知県社会福祉協議会 地域・生活支援課 チーフ 鈴木 香
- 15:15-16:15 まとめ「生活支援体制整備事業を生かした支え合いの地域づくり」  
東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授 高橋 誠一  
岡山県倉敷市保健福祉局健康福祉部 参与兼部長 吉田 昌司  
(前厚生労働省老健局振興課 課長補佐)  
高知県地域福祉部高齢者福祉課 課長補佐 酒井 美枝  
全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘

\*主な講師を掲載しています。随時、HPにて講師の情報はお知らせいたします。

CLC で検索!